

NPO法人 自立生活センター STEPえどがわ 会報

STEPっ子パラダイス all for ワ ダフォー!!

えぬピーおーほうじん
じりつせいかつせんたー
すてっぷえどがわ
かいほう
すてっこぱらだいす
おーるふおあわんだふおー

ねん がつごう
2018年7月号



しんねんど はじ はやさんかげつ た ちようせん あたら
新年度が始まり早三ヶ月が経ち、いろんなことに挑戦したり新し
ひと で あ なん できごと みな おも
く人と出会ったりと何らかの出来事が皆さんにもあったと思いま
せんじつあに いえ あたら いのち たんじよう
すが、先日兄の家で新しい命が誕生しました。しかも四つ子！！つて
こねこ
いっても子猫のことですが・・・それにしてもかわいい～！！最近
ねこ
の猫ブームにも改めて納得させられましたが、そんな猫ちゃん達
あた
は3つの家族にもらわれ新しい家族の仲間入りしました。この子猫
かぞく あたら かぞく なかまい
と一緒暮らしさまざまな歴史を刻むことになるのだろかと思いま
いっしょ く れきし きざ おも
すが、この猫ちゃん達は家族の潤滑油としてどんな幸せをもたらせて
ねこ たち かぞく じゆんかつゆ しあわ
くれるのだろうか楽しみである。
たの



目次
もくじ



おいしい！楽しい！お料理 I L P	2
シーティングセミナー開催報告	4
お花見報告	7
セッキーのUDタクシー乗車体験記	8
手話フォン視察レポート in 羽田空港	11
バスハイク報告	13
Natsukiが行く！世界のCILとつながろう	15
鈴音の手話コラム	17
当事者スタッフから勝矢さんへ	18
大学等への修学支援事業開始	20
成田空港バックヤード視察	22
会員募集	26



工藤 登志子

STEP えどがわでは、毎月利用者さんを対象に「お料理ILP」をゆる〜く開催しています。お料理ILPの「ILP」はとある言葉の頭文字ですが、何のことかわかりますか？「I Love Party!!」だと思ったパーリーピーポーの皆さん、惜しいですが違います。正解は「Independent Living Program」、和訳すると「自立生活プログラム」。つまり障害者が自立生活を始めるための訓練の一つです。具体的には、今日何を食べるか？材料をどこで買うか？といった一つ一つの選択を自らが行い、材料はどんな切り方にするか？味付け、火加減はどうするか？等、介助者への指示出しも含めて実際に調理をするための基本的な知識を身に付ける練習を行います。なぜこのような練習が必要かという、障害を持っている人の中には親の手厚い保護の下で育ち、自分でご飯を用意した事がないという方、または施設の中で選択肢や機会を得られなかったという方がいます。そのような方々がいざ一人暮らしを始めると、食事をどうしたらいいのかかわからず毎日コンビニ弁当に頼ってしまったり食事を抜いてしまったりと不経済で栄養の偏った生活になりがちです。食事は栄養を補うだけでなく、味やその場の空気を楽しむことで心を穏やかにする役割もあり、食事が生活の質に影響することは言うまでもありません。

・・・と、難しい話はここまでにして、2月18日に開催した記念すべき第一回目のお料理ILPでは参加者4名が集まり、東部フレンドホールの調理室で「とんこつしょうゆ鍋」を作りました！鍋と聞くと、野菜を切って鍋の素をポンッと入れるだけのイメージですが、今回はスープも自分たちで作ることに。調理前にこの日のミッションだった「計量の仕方」をみんなで学び、2グループに分かれて作りました。するとあら不思議、同じレシピなのに違う味に出来上がりました。ちょっとした火加減やさじ加減で個性が出るんですね。でも、どちらのグループもととても美味しく、手間がかかった分奥深い味でした。

調理ILPは今後も月1回ペースで開催していく予定です。一緒に料理の練習がしたいという方は、ぜひともSTEP えどがわまでご連絡ください♪当日のお手伝いをしてくださるボランティアさんも大・大・大募集中です！ m(__)m



か ものちゆう ようす にく りよう ねだん
買い物中の様子。お肉の量や値段など、
どれが ^{いちばん} とく ^か ^{かた} ^{ぎんみちゆう}
一番お得な買い方??と吟味中。

けいりよう しかた べんきょうちゆう
計量の仕方を勉強中。

「計量カップで量る時は手で持つとゆらゆ
ら揺れて傾くから、テーブルに置いた方が
せいかく ^{はか}
正確に量れるよ。」

ばい ひるかわねえ
by 蛭川姉さん



アツアツのとんこつしょうゆ鍋が完成～！
おな ^{なか} ^{なべ} ^{かんせい}
腹ペコペコだったみんなは、あっという
間にたいらげていました (笑)

すてっぶ けんしゅう STEPえどがわヘルパー研修 シーティングセミナー開催報告

ひるかわ りょうこ
蛭川 涼子



こうし やまざきやすひろ
講師の山崎泰広さん

2018年4月4日、東部区民館で「シーティング研修会（兼ヘルパー研修会）」を開催しました。「シーティング」は日本語に約すと「座り方」、リハビリ業界では「車椅子座位保持」などと言われています。ヘルパー研修として告知した際、ヘルパーさんたちから「シーティングは利用者が知りたいことでは？ヘルパーにとって意味

あるの？」という声を聞きました。

いやいや…、車椅子はただ障害者をのっけて運ぶ道具、…ではないですよ？車椅子はいまや、座り方次第で、筋力を補って座位を保持する補そう具になりました。座位を保てるということは、出来る事が広がるということでもあります。つまり、ヘルパーの介助次第で前傾姿勢や腰の痛みが残ったり消えたりするわけです！

というわけで、シーティング・スペシャリストの山崎泰広さん（元アクセス・インターナショナル社長）を講師にお招きして、「シーティング」について講義をしていただきました。

しょうがいしゃ じゅうりよく よわ 障害者は重力に弱い

わたし やまさき はなし き いちばんきおく のこ しょうがいしゃ じゅうりよく よわ
私が、山崎さんの話を聞いていて、一番記憶に残ったのは、「障害者は重力に弱い」というフレーズです（笑）

うちゅうひこうし うちゅう もど あしこし た
宇宙飛行士が、宇宙から戻ってくると、足腰が立たなくなっているというエピソードが頭に浮かびました。無重力の宇宙空間では、立つ必要がないので、筋肉も衰えて弱くなるという話。人（動物）の筋肉は、地球がもつ重力、空から地面に私たちを押さえつける力に逆らうために進化した…とすると、筋肉が少ない障害者が重力に負けて、どんどん変形していくのは当たり前なのかぁ！と（笑）

シーティング評価→正しい補そう具（クッションと背/脇当て）の使用で快適生活

正しく座れない、身体が変形する理由は様々です。生まれつきの発育不全や事故や病気による神経麻痺（緊張）など。こうした障害を持っていると、座位を取ったとき、重力に負けて、姿勢が崩れていきます。そのまま生活していると、背骨は曲がりねじれて固まってしまいます。そして側湾が進行…（泣）

シーティング評価はまず骨盤を見るそうです。お尻がずれる、背骨が曲がるのは骨盤の位置が正しく置かれていないからだそう。骨盤を正しい位置に置いて、前後左右への傾きや回旋（ねじれ）がないか見ます。次いで足と体・頭の傾きを見ます。最後にそれらのその傾きを無くすには、どこ（お尻とか脇）にどんなサポート（高さや形状）があればよいのかを見ます。



さまざまな種類のクッション&バックサポート

身体に重力（地面に垂直にかかる見えない力）がかかっていることを意識して、どういう姿勢（座り方）が一番楽で、変形を防ぐことができるのか。座り方一つで疲労が減る、長期的に見て変形が軽減する、つまりは二次障害がなくなるかもしれない。

ああああ。もっと早くに知りたかった！！車椅子に乗りたてのころに知っていたら、私も今の腰痛はなかったかもしれません。自分の側湾が、筋肉量や座り方で加齢と共に進行するなんて考えてもいませんでした。

しかも、私は1年半前に山崎さんのシーティングを受け、アクセス・インターナショナルのJAYシリーズクッションと背当て、脇当てを使用していましたが、今回研修を受けて、間違ったクッションの遣い方をしていたことが判明しました。すぐに正しく装着しなおすと、全然違いました。典型的な「宝の持ち腐れ」状態…！（汗）正しい知識をもって使用しないと良いグッズも意味はなし！ですね。

車椅子上のずり落ち・前傾は障害のせいには非ず。シーティングを正しくしよう。

車椅子に乗っている皆さん。身体が前屈みになったり、お尻がずれたり、腰が曲がったりしていませんか？そんなときは、「シーティング」という言葉を意識してみてください。

ヘルパーのみなさん、利用者が車椅子に乗っていたら、その人の骨盤は、座面に対

して左右が平行になっているか見てあげてください（その際、車椅子の座面がたゆんでいては意味がありません）。もし左右差があったら、身体のどこかに辛さがないか聞いてみて「辛い」という答えが返ってきたら、「シーティング」のことを教えてあげてください。

そして、今一度シーティングを勉強したいなと思ったあなた。事務所へ起こしてください。



えどがわく くるま ぎょうしゃ
江戸川区にある車いす業者のパムックさん
にもご協力いただき、シーティングを行っ
た車いすを見させていただきました。



みたことの無いシーティングアイテムが
いっぱいありました。



こうえんかい あと やまざき かこ こうりゅうかい たの
講演会の後は山崎さんを囲んで交流会を楽しみました！

お花見報告

なかそね ともあき
中曾根 智明

2018年4月7日に毎年恒例のお花見を春江の森公園にて開催されました。少しずつ暖かくなるにつれ花々が咲き始めてくる季節ですが、今年は暖かすぎるぞ——!! STEPのお花見はよく天候不順に見舞われ一年おきに雨で事務所開催を余儀なくされていますが、去年は雨だったので今年は晴れてお花見が出来ると根拠のない自信がありました。お見事予想通りにお花見を公園で開催することに。しかし!! 桜の花がないぞー!! 冒頭にもふれましたが今年は異常なぐらい桜の開花が早く全く花びらが付いておらず残念でしたが、そんな中でも多くの方が参加して頂き楽しく過ごすことが出来ました。(結局今年も雨がぱらぱらと降ってしまいましたが・・・)

どうやら雨男・雨女がSTEPにはいるらしく、「気象神社」という御祓いができる神社があるらしいので行ってみるのもいいのかなと思っています。我こそは晴れ男・晴れ女という方はぜひ参加して下さい!! お待ちしております。



セッキーの UD タクシー乗車体験記

せきぐち さとし
関口 悟

トヨタ自動車（株）の新型タクシー専用車「JPN TAXI」に乗る機会がしばしばあったので、その感想をぼくなり書いていこうと思う。



じゃぼん たくしー がいかん
JPN TAXIの外観

JPN TAXIはトヨタが約20年間生産し、日本の法人タクシー専用車のシェアの8割を獲得してきたタクシー専用車「クラウンコンフォート」に代わる新しいタクシー専用車。

また、トヨタ車で初の国土交通省「標準仕様ユニバーサルデザインタクシー」(UDタクシー) レベル1認定車種でもあ

る。

また、技術的にもLPGハイブリッドや先進の衝突回避支援機能など、従来車になかった装備が充実している。

低床・背高ワゴンボディと上質な内装、掴まりやすく見やすいグリップ類、そして海外ではジャパンプルーと呼ばれる「深藍」というイメージカラーが今までになかった新しいタクシーの形を見せている。

ぼくが実際に四回JPN TAXIに乗ってみて思ったこと。室内の造りは良かったし、車椅子ごとの乗車時間が長いと疲れるけれども乗り心地は従来のコンフォートと遜色ない。むしろコンフォートよりも快適なぐらい。そして荷物もたくさん詰めるだろう。

ただし、ぼくの場合、外国製の大型電動車椅子なので、頭上の余裕がない(コブシひとつ分あるかないか)のが気になった。



じゃぼん たくしー の 室内
JPN TAXIの室内(シートはすべて車椅子乗車のために畳まれている)



じや ばん た く しー しゃりようひだりがわうしるせき でんどう
JPN TAXIは車両左側後席の電動ス
ライドドアに二分割されたスロープを組み立
てて車椅子ごと乗車する。



じや ばん た く しー の スロープ。 ぶんかつ
いる上に格納場所が別々なので使い勝手は
とても良くない！

それ以上に、今まで乗った四回とも絶対的な稼働台数が少ないことを差し引いて
も、運転手が自分に割り当てられた車の操作をきちんと学んでいないことが印象的
だった。

特にJPN TAXIの場合、車椅子ごと乗るにはボディ左横後席側の電動スライ
ドドアからしか乗れない上に、スロープが二つに分割されて別々の場所に格納されて
いるため使い勝手が悪く、慣れていない運転手は車椅子の乗車に30分以上かかるこ
とも少なくない。

日産自動車のNV200タクシー（車椅子仕様）がボディの後部ドアからスロープ
を付けて、車椅子ごと正面から簡単に乗れるのとは対照的で、このために車椅子ごと
の乗車に積極的でない運転手から乗車を断られたケースも多くあると聞いている。何
という由々しき事態!!

また、現在のUDタクシーは国交省が定める「標準仕様ユニバーサルデザインタク
シー」のレベル1準拠で、乗客ごと乗せられると想定している車椅子が手動式もしくは
簡易電動式であり、乗客含めて200kgを越える外国製の大型電動車椅子は想定
していないのではないのだろうか。

この辺りは、日産のNV200タクシーも含めて、国交省の定める「標準仕様ユニ
バーサルデザインタクシー」のレベル2への全車標準対応も必要かもしれない。日産
NV200タクシーには車椅子乗車に対応していない仕様も多く走っている。
トヨタJPN TAXIの場合、シャーシをさらに補強してバッテリーとLPGタン
クの位置や形状を変えれば、日産NV200タクシー同様に車両後部にスロープを付
けてダイレクトに乗れるし、外国製の大きくて重い電動車椅子も容易に乗せることが
出来るだろう



にっさんじどうしゃ えぬびい にひやく
 日産自動車のNV200タクシー
 (車椅子仕様)の外観



にっさんえぬびいにひやく くるまいすしやう
 日産NV200タクシー(車椅子仕様)
 は車体後部からスロープと電動ウインチ
 で正面から楽に乗ることが出来る。

また、これは意外な反応だったのだけれど、Facebookでの発言で独歩できる脳性麻痺者のひとりから、コンフォートのような従来の「セダン型タクシーのほうが乗りやすい」という意見があったり、簡易電動車椅子に乗っている人から「JPN TAXIは乗っていて疲れる」という発言があったことだった。

よくと同じ脳性麻痺の障害者と言えども、乗り方や乗り心地には個人差があって、誰もが満足できる一台は作れないということで、トヨタと日産が異なるタイプのUDタクシーを発売しているのは好ましいことなのかもしれないと思う。

また、雪国などの地域ごとのニーズを汲むのなら、得意分野の違う新規参入メーカーがあるといいのかもしれないとも思う。

タクシー業界にこれから希望することは、まずはUDタクシー専用の乗り場を駅前や空港、病院、ショッピングモールなどに設置して、そこに行けば必ずUDタクシーに乗れるようになって欲しいと思う。

そして運転手も客をスムーズに乗せられるよう、取扱説明書で自らが運転する車の操作を熟知し、自動車会社から仕様変更の連絡があったときにはすぐに対応できるよう、常に勉強を怠らないで欲しい。

そして、車椅子対応のタクシーで、車椅子ユーザーが乗車拒否されることがないようにお願いしたいと思う。

自動車会社も現状に満足することなく、常に乗客や運転手の声を聞いてUDタクシーの改良を続けていき、そして、それを乗客や運転手に広く知らせる機会を常に持って欲しい。そして、将来的には福祉タクシーのような事前予約がなくても、乗客が必要なときに電話やスマホアプリでUDタクシーを呼び出して、すぐに乗れるような環境作りを目指して欲しいと思う。

見てミ～ナ！使ってミ～ナ！

いん はねだくこう
in 羽田空港



日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

手話フォン視察レポート

たなか すずね
田中 鈴音

みなさん、羽田空港にある証明写真機のような、プリクラのような雰囲気を感じさせる「手話フォン」を見たことはありますか？



2017年12月3日に羽田空港国内線第1、第2旅客ターミナルに手話フォンが設置されました。2013年から日本財団が行っている聴覚障害者向けの電話リレーサービスと、利用者はスマートフォンやタブレット、パソコンを使ってオペレーターと手話で会話し、電話を利用できるサービスが羽田空港にも導入されました。

高所恐怖症で飛行機が大の苦手なわたしは空港に全く行かないのですが、今回、事務局長ツッチーと会報編集長トッシー、里帰りして羽田に戻ってきたばかりのなっちゃんも巻き込んで手話フォン視察に行ってきました。

手話フォンは年中無休で午前8時から午後9時に利用でき、事前に会員登録などは必要なく、料金もかかりません。電話ボックス内にあるテレビ電話のモニターに映った手話通訳者を介して電話の相手とやり取りできます。私が手話で



メッセージを伝え、それを手話通訳者が音声に変えて相手にメッセージをリアルタイムで届けてくれます。

欠航などの緊急時にすぐに連絡できるのでごく便利だと感じました。

今は、ラインやメール等の方がよく使われていると思いますが、それでも急な連絡が必要になったときに電話でやりとりできるというのは魅力的です。





そしてなにより、^{くるま}車いすユーザーでも
^{つか}使えるように、カメラの高さが^{たか}調整でき
^{ちようせい}るようになっていました。広さも十分あり、
^{ひろ}電動いすでも^{じゆうぶん}入れました！

せっかくなので、^{しゅわ}手話フォンを^{つか}使って
^{りじちよう}理事長の^{いまむら}今村さんに^{あい}愛のメッセージを^{つた}伝
^ええようとしたが、^{るすでん}留守電！！^{いかり}怒
^{しゅわ}手話フォンは^{とうきよう}東京オリンピック・パラ

リンピックに向けて全国の空港にも設置していくそうです。

^{にほん}日本では^{おく}遅れている^{じようほう}情報^かバリアフリー化。

^{しゅわ}手話フォンを含め^{ふく}電話^{でんわ}リレーサービスは^{ちようかくしやうがいしゃ}聴覚障害者が^{じりつせいかつ}自立生活を送るためにとても
^{じゆうよう}重要な^おものです。

^{でんわ}電話をしたくても^{まわ}周りの^{ひと}人に^{いらい}依頼するのを^{えんりよ}遠慮して、^{じぶん}わざわざ^{げんち}自分で^{あし}現地まで^{はこ}足を
^お運ぶ^{おお}ケースが多かったり、^{まわ}周りの^{ひと}人をお願いするときは^{ねが}プライベートな^{ないよう}内容もあるの
^きで^{なか}気がつかっていた中このような^{じぶん}サービスが^{じしん}できたことで^{たいおう}自分自身で^お対応できること
^ふが増えました。

^{くるま}車いすユーザーが^{こうきようこうつうきかん}公共交通機関を^{びようどう}平等に^{りよう}利用するため^{えき}駅に^{せっち}エレベーターが^お設置され
^{たもくてき}たり、^{おな}多目的^{ちようかくしやうがいしゃ}トイレがあるのと同じように、^{でんわ}聴覚障害者が^{しゃかい}電話という^お社会インフラを
^{りよう}利用するために^{でんわ}電話^{しゅわ}リレーサービスという^{しゅく}仕組みがあります。

^{しゅわ}手話フォンや^{でんわ}電話^{ちようかくしやうがいしゃ}リレーサービスを^{じようほう}きっかけに^お聴覚障害者が^お情報に^おアクセスできる
^{しゅく}仕組みが^{ひろ}広がって^お欲しい^おと思います。

障害支援も 介護保険も これ1台

訪問介護のためのスケジュール管理ソフト

クラウドでシフト管理

ヘルパーアシストはASP型だから設置が手軽。
 すぐに、どこからでも・何人でも利用が可能です。
 急な変更も、毎日の調整も、ラクラク調整！

シフト情報を自動的にメール

毎日のシフトは勿論、変更やキャンセルもメール
 でお知らせ。うっかり聞き間違い・言い忘れ！
 そんな連絡ミスをなくすお手伝いをします。

お給料もワンクリックで計算

面倒な毎月の時給計算も、シフト実績から自動
 集計・自動計算が可能です。サービスごとの時
 給設定・介護保険の単発給与にも対応！

パソコン初心者さんも安心！ サポート無料！！

シンプルな料金形態
 ヘルパー1名につき
800円(税別)
 ※更新料・解約料
 一切なし

HelperAssist ヘルパーアシスト

【ヘルパーアシスト】シリーズ スケジュール管理ソフト
 有限会社 ミツコミュニケーションズ 東京都江戸川区瑞江 2-6-11 プレステージ瑞江 3F
 TEL : 03-5636-6027 FAX : 03-5636-6024 info@mits-com.com

お試しは
 コチラ！

 全ての機能が
 2ヶ月間無料！

はじめてのSTEPバスハイク♪ ～マザー牧場に行ってきました～

そだ なつき
曾田 夏記

「STEPで社員旅行ってやったことないんだよね～できたらいいよね～」

「みんなでさ～どっか遠くにいけたらいいよね～」

「なっちゃん、江戸川区のバス助成金あるから、だしてみ～な♪」

という訳で、いつの間にか助成金担当になった私は、試行錯誤しつつ25万円を江戸川区に申請。その流れでバスハイクの主担当になってしまった私は（できるかなあ、みんな行きたいかなあ・・・）と結構不安でもありました。でも、いつも楽しいバス旅行をしている「青銅の家」の我らがトヨコ理事とおしゃべりしていた時、「こういうの、STEPもあった方がいいよ。」と一言おっしゃっていたのが、今思えば支えになっていたなあと思います。

当日は、ツッチーさんが今回も期待通りの大雨を降らせてくれましたね。参加者はふくれあがって総勢約50名。大型観光バス2台を貸し切って、バスハイクの王道マザー牧場へ～

今回のバスハイクで嬉しかったことはいろいろあるのですが、やっぱり、退院して地域に戻ったばかりのYさんとお母さんの表情がいちばん心にのこっています。私はYさんとバスが一緒だったので、いろいろな場面に出会えました。出発してすぐ、お母さんがうれしそうに車内で写真を何枚もとっていたこと。渋滞にはまって見せられたミニオンのDVDがYさんのツボだったらしく、ゲラゲラと笑いだしたこと。その反応に、バスの中のみんなが振り返ってYさんのことを笑いながら見つめていたこと。その日が30歳の誕生日だったYさんを、BBQ場にてみんなでお祝いできたこと。Yさんとお母さんの表情を見ながら、「これだけでも、バスハイクやってよかったなあ」って心からおもいました。

昨年からはじめた大学まわりのつながりで、学生さんが5人来ってくれたことも、とてもうれしかったですね。「ボランティアで来たけど、今めちゃくちゃ楽しんでいます！」と言ってくれていたのが印象的でした。楽しいと思ってくれることがイチバン

です。その後、STEPで登録ヘルパーになるための研修を受けてくれる学生さんもいて、こうやって、人がどんどん集まってくる魅力的なSTEPにしていけるといいなあと思いました。

みなさん、来年はみんなで一緒にどこにいきたいですか～？一緒にバスにのって、一緒にごはん食べて、一緒に楽しいことするのって、いいですね。またみんなで楽しいバスハイクをつくっていただけたらとおもいます。

イベント班のみんなも、シフト調整しまくってくれたコーディネーターのみんなも、本当にありがとうございました！（^^）





ぼりゆーむわん ういん せかいあいえる
～ vol.1: WIN (世界ILネットワーク)の意味を、大人気ドラマJINから探る～

そだ なつき
曾田 夏記

みなさんコンニチハ～！さて、本号から、STEPでは今村さんと曾田が関わっている「WIN (世界ILネットワーク)」の活動について書いていきたいと思ひます。

みなさんは、世界にSTEPのような自立生活センターがいくつあるかご存知ですか？



ういん おうだんまく
WIN横断幕

すか？昨年7月、「自立生活運動」が生まれたアメリカに、約20か国から自立生活センターのスタッフたちが集まりました。アジア、中南米、アフリカから集まったリーダーたちは、日本の自立生活センター(西宮のメインストリーム協会や、八王子のヒューマンケア協会など)で研修を受け、「自分の国にも自立生活の理念を持って帰る！」との決意を胸に帰国、それぞれの国

で初めての自立生活センターを作ってきました。

自立生活センターが20か国にまで広がっているなんて、ほんとうにすごいことですね。でも、裏を返せば、「自立生活」について何の情報もない国が、160か国近くあるのです。

どの国の、どんな小さな村にも、必ず障害者はいます。そして、私たちと同じように障害を理由にいろいろな機会を奪われて暮らしています。

突然ですが、みなさんは「JIN～仁～」というTBSドラマを見たことがありますか？江戸時代にタイムスリップした現代の脳外科医「南方仁」が、江戸時代のお医者さんたちに現代の医療技術を伝えていくんですね。南方先生、実は昏睡状態の婚約者を残してタイムスリップしてしまっており、「これは神に背く禁断行為だろうか・・・」と悩みつつも、「江戸時代にこの技術を伝えておいたら、現代に戻った時にアイツを救えるかも・・・」との思いで「医学の時計の針を、前に進ませる」決意を固めていきます。

「おれたちがやっていることは、仁先生といっしょや。自立生活のことを何も知

らない^{くに}国にいて、そこにおる^{しょうがいしゃ}障害者に
 自立生活のことを伝えることで、歴史の
 時計の針を一步でも前に進めているん
 や。」これは、先ほどでてきたメインスト
 リーム協会の理事長カドタさんから、夜
 な夜なわたしが聞いた言葉です。そして、
 「曾田さん、J I Nは見とかなあかんで
 ～」。



カドタさんとアジアのメンバー

すなお^{そだ}素直な曾田さんは、6か月の無職期間、
 カドタさんに言われたとおりJ I Nをシリーズ2まで一気に見ました。フィリピンの
 村々であ^{しょうがい}障害のある仲間たちのことを思い出しながら、思いました。「そうだ
 なあ、自立生活のことをひとつの国に伝えられたら、50年後のその国の障害者の暮
 らしは、ぜんぜん違^{ちが}うものになっているだろうなあ・・・」

他の国に「自立」の理念を伝えてきた自立生活センターは、日本でもごくわずかで
 す。これから先、わたしたちをふくめ、「自立生活」のことを何も知らない地域や国
 の障害者に「伝える」ために、「W I N」は何ができるのでしょうか・・・。次号から、
 世界とつながろうとする日本の自立生活センターの活動を、W I Nにかぎらず、ゆる
 やかにお伝えしていければとおもいます。シーユー！



↑ W I N 設立フォーラムで話すトッシー



↑ コスタリカのメンバーと

連載シリーズ

vol.7

鈴音の手話コラム

たなか すずね
田中 鈴音

○手指動作と非手指動作

手話は手や指、腕を使う手指動作だけではなく、非手指動作と呼ばれる、顔の部位（視線、眉、頬、口、あごの引き、出しなど）が重要な文法要素となります。

とても暑い

ものすごーく暑い！！



右側のつちーの表情に注目です（笑）

このように程度を表すだけでなく、この非手指動作によって、受け身、使役、命令、疑問文などの文法的意味を持たせることも出来ます。

また手話はひとつの単語でいろんな意味を持つものがあります。

例えば、上の画像の「暑い」という手話は、他にも「夏」「うちわ」「あおぐ」という意味も持っています。表情や文脈によって、相手が何を表しているのか判断が必要です。みなさんも表現力UP、読み取り力UPを目指

していきましょう！

○おまけ

食べ物の手話ばかり覚えているトッシーと
ともさんの好きな手話は・・・？

ともさん→桃

トッシー→きのこ！？



勝矢さんを偲んで

当事者スタッフからのメッセージ

つちや かつや へんじ いま しん すてっぷ
土屋：勝矢さん！そう呼んでも返事がないのが、未だに信じられません。STEP



かずおお さんか
のイベントにも数多く参加していただきましたが、
ぼくこじんてき なんと いっしょ がいしゅつ
僕個人的にも何度も一緒に外出させていただいたの
を思い出します。

いっしょ がいしゅつ つちやくん し
一緒に外出をすると、「土屋君、これ知ってる？」

などといろいろなことを教えていただきました。それは単に情報としてではなく、勝矢さん独自の視点も入っていてまさに「面白い」外出でした。時にはマニアックすぎて僕にはわからないことも多々ありましたが、そんなときのやり取りも楽しかったのを覚えていてます。



はばひろ ちしき も かいほう かつやみつぶ じょうほうはっしん ながねん
幅広い知識を持ち、会報にも「勝矢光信の情報発信コーナー」として長年にわたり
書いて下さいました。このコーナーにはファンも多く、掲載できなくなってしまったことが残念でなりません。

いま ほんとう
今まで本当にありがとうございました。
こころ めいふく いの
心よりご冥福をお祈りいたします。



いまむら きほん かたひじは
今村：「基本エロだけど、肩肘張らないマイペースの
うんどうか かつや い ぎま かつて けいよう
運動家」・・・勝矢さんの生き様を勝手に形容させて
もらおうとしたら、こんな風になりました。直接デモに
さんか こうぎぶん か
参加したり抗議文を書いたりということはあまりされ
て居なかったと思いますが、ハンセン病者の療養所を
めぐって話を聞いたり、外出時の困難さをユーモアを
まじ ほん すてっぷ かいほう はっしん つね すろど してん しゃかいもんだい き
交えて本やSTEPえどがわの会報で発信したり、常に鋭い視点で社会問題を切りつ
つ、幾つになってもスケベ心を忘れない、ブレない生き様がステキでした。



なかそね あ はなし なに き
中曽根：イベントなどで会うたびにいろんな話をして、何かと気にかけてくれましたね。勝矢ファームにもお邪魔させて頂き楽しませてくれて、おいしいお野菜もいただき本当にありがとうございました。

ひるかわ じもと いぬ かつや はなし き
蛭川：地元で生き抜いた勝矢さん。もっと話を聞
いておけばよかったな。



せきぐち かつや わたし ちい ころ ゆうめい
関口：勝矢さんは私が小さい頃から有名でしたが、
ちよくせつ め かつや すてっぷ はい
直接お目にかかったのはSTEPに入ってから
すうかい かつや はなし き
数回だけでした。勝矢さんからいろんな話を聞き
たかったと今は思います。これからはしこうさくご
ながら、勝矢さんが遺したものを受け継ぎたいと思
っております。

すずね しゅわすこ すこ
鈴音：手話少しならできるよ、少しだけね、と
いいながらバリバリ手話を知っていた勝矢さん。
やさい と たび えがお むか かつや
野菜を採りにいく度に笑顔で迎えてくれた勝矢
さん。どれも大切な思い出です。



そだ やさい と い かつや
曾田：野菜を取りに行くと、「そださん、アメリ
けんしゅう うんどう ちゅうしん
力研修どうだった？」とか、運動のことを中心に
いつも聞いてくれましたね。そんな勝矢さん
であ ほんとう
に会えて、本当によかったです。



くどう じたく はたけ さいばい やさい そだ たび
工藤：ご自宅の畑で栽培している野菜が育つ度に、
と かつや
採りにおいでと呼んでくれた勝矢さん。スタッフ
がしゅうかく ようす なが
が収穫している様子を眺めながら、たわいもない
かいわ よ おも け
会話をしていたのが良い思い出です。どうもありがとうございました。

かつや つづ すてっぷ ぜんだいひょう よしもとりゅうじ さ
勝矢さんに続き、STEPえどがわの前代表である良元竜次さんも、去
る 6月15日に天に召されてしまいました。創立メンバーの一人であり、
13年間もの長い間、代表を務められた良元さんに、スタッフ一同心か
ら感謝を申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。
じごう あらた よしもと ついとうらん もう
次号にて、改めて良元さんの追悼欄を設けさせていただき
たいと思います。



「大学へ通いたいけど、通学のために介助サービスは使えないんじゃないか」と、
大学進学を諦めていた諸君!! 諦めるのはまだ早い。

この4月から新制度がスタート!



いまむら のぼる
今村 登

外出(移動)も含み、日常的に長時間の支援が必要な重度障害者向けの介助サービスとして作られた重度訪問介護ですが、現在の障害者総合支援法の前身である障害者自立支援法ができた当初から、重度訪問介護の移動について、次のような制限が設けられていました。

(前略) 重度訪問介護(居宅における入浴、排せつ又は食事の介護等及び外出(①)通勤、営業活動等の経済活動に係る外出、②通年かつ長期にわたる外出及び③社会通念上適当でない外出を除き、④原則として1日の範囲内で用務を終えるものに限る。2並びに第3及び第4において同じ。)時における⑤移動中の介護を総合的に行うものをいう。以下同じ。)(後略)

<解説>

- この①と②により通勤・通学に重度訪問介護サービスが使えず、社会参加の大きな妨げとなっている。
- この規定を参考に、市町村の地域生活支援事業である「移動支援」の要綱が作られているケースが多く、①、②はもとより特に③と④の行き過ぎた拡大解釈により、障害のない一般市民が行なっている余暇活動(映画鑑賞、コンサート、居酒屋、公営ギャンブル、泊まりの旅行等)でさえも利用不可とされ、⑤の「移動中の介護を総合的に行うもの」は何故か反映されず、細かな制限を課せられることでやはり社会参加の大きな妨げとなっている。
- 更に移動支援は②に加えて「自宅発着」という利用条件が課せられるケースも少なくなく、「生活介護」や「就労継続B」などの日中活動の場から帰宅時に移動支援が使えず、帰宅途中で買い物や通院をした方が断然効率が良くても、一旦自宅に帰ってからでないと移動支援を利用できないという状況も起きています。
- 本規定は法律改正までの必要はなく、厚労省の判断で見直しが可能なおものである。

- 障害者総合支援法の基本理念である「障害者及び障害児にとって日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものの除去に資することを旨として、総合的かつ計画的に行わなければならない。」や、障害者差別解消法の「不当な差別的取扱い」の基本的な考え方である「障害者に対して、正当な理由なく、障害を理由として、サービス等の提供を拒否する又は提供にあたって場所・時間帯などを制限する、障害者でない者に対しては付さない条件を付するなどにより、障害者の権利利益を侵害することを禁止」に照らし合わせても、本規定は行き過ぎた規制を生む温床となっている。

ということで、JILやDPIではこれまでずっとこの重度訪問介護の外出に関する上記の記述から、①、②についてはその実態把握のための調査を行うとともに、社会的障壁となっている①、②、③、④を削除することを厚労省に求め続けてきました。2年前からは大学の修学時の介助サービス利用のモデル事業を行い、昨年の11月には、国会の近くで大規模な集会も行いました。

そうした地道な活動の結果、この4月から大学等の修学支援として介助サービスが使える制度がスタートしました。『重度訪問介護利用者の大学等の修学支援：地域生活支援促進事業等（493億円）』という市町村への補助金事業です。

残念ながら重度訪問介護サービス本体で実施することは見送られましたが、代わりに、地域生活支援事業の補助金事業で、大学等（大学、高専）に通う重度訪問介護対象者に対し開始されました。区市町村がこの補助金事業をやると手を上げてくれないとできないので、この制度を利用したい人は、区市町村に相談をして都道府県と厚労省に調整をしてもらうよう働きかけていきたいと思います。

概要

- 大学等（大学院、短大、高専）での通学時、修学中の利用
- 大学等における支援体制が構築されるまでの間
- 市町村の地域生活支援促進事業の中で行う仕組み
- 移動支援事業や入院時コミュニケーション支援事業のように市町村で要綱を作り、単価や要件、支給の基準などを市町村で決めて、実施する仕組み。

なり た こう こう し きつ 成田空港バックヤード視察

つちや みねかず
土屋 峰和



しょうがい もの ひこうき りよう
障害を持つ者にとって飛行機の利用は
けっこう たいへん おお しょうがい
けっこう大変なことも多い。障害により
たいへん ぶぶん ど あ さまざま
大変な部分や度合いは様々ではあるけれど、
こんかい おも くるまいす かんけい
今回は主に車椅子ユーザーに関係する
ぶぶん しきつ
部分を視察(2018/6/13)してきました。



くるまいす ひこうき りよう
車椅子ユーザーが飛行機を利用する
ばあい てじゆん ふ
場合、いくつかの手順を踏まなくてはな
らぬ。もちろんこれは車椅子ユーザー
にかぎ かつぱん じょうきやく
に限ったことではなく、一般の乗客もい
くつかのてつづ
手続きはあるわけだが、これら
くるまいす
にプラスして車椅子ユーザーならではの
てつづ ひつよう
手続きも必要となります。

くるまいす ひこうき りよう
車椅子ユーザーが飛行機を利用する
とき とうぜん くるまいす あず
時、当然のことながら車椅子も預けることとなりますが、
ばあい いてばんてき あず
場合によっては一般的な預
け荷物と預けるタイミングが変わります。一般的に預け荷物はチェックインの際に預
ける。きほんてき くるまいす あつか
基本的には車椅子もその扱いとなり、この時点で空港の車椅子に乗り移り自分
のくるまいす あず
の車椅子は預けることとなる。このチェックイン直後から借りた車椅子に乗り搭乗ま
でのじかん す
での時間を過ごすことになるが、じっさい とうじょう
実際の搭乗まで1時間以上空いてしまうこともあり
ます。

くるまいす じぶんいがい くるまいす の たいへん なん
しかし車椅子ユーザーにとって、自分以外の車椅子に乗ることはとても大変だ。何
とかのうつ すわ
とか乗り移り、座ることができたとしても、慣れない車椅子で長時間過ごすことはや
はり辛い。特にしょうがい じゅうど きび ま
特に障害が重度になるほどその厳しさは増し、そもそも自分以外の車椅子
に乗ること じたいふかのう ちか すく
に自他不可能に近いケースも少なくない。

とうじょうちよくぜん じぶん くるまいす りよう いただ
そのため、なるべく搭乗直前のシップサイドまで自分の車椅子を利用して頂き
たいと、もう い
もう、申し入れることもできる。シップサイドとは機体のすぐ横のことを言い、ボー
ディングブリッジ(とうじょうきょう い か
ディングブリッジ(搭乗橋:以下ブリッジ)の中となります。ここで機内用の車椅子

の乗り移ります。

この後、空港側では車椅子を預け荷物として機体に積み込むために、ブリッジから下まで降ろさなくてはなりません。手動車椅子のように軽ければ、階段など人力で何とかできるかと思いますが、昨今増えてきている大型の電動車椅子のような大きく重いとそうもいかない。



今回の視察のポイントは、シップサイドで乗り移った後、私たちの車椅子をどのように降ろしているのか。また、時として車椅子が破損していたと聞いたこともあるなか、実際にどのように扱われているのだろうかというところです。

視察は実際の利用時の手順に沿って、チェックイン時の対応や確認事項、チェックイン時に車椅子を預けた場合の検査、そして一番気になっていた、ブリッジから

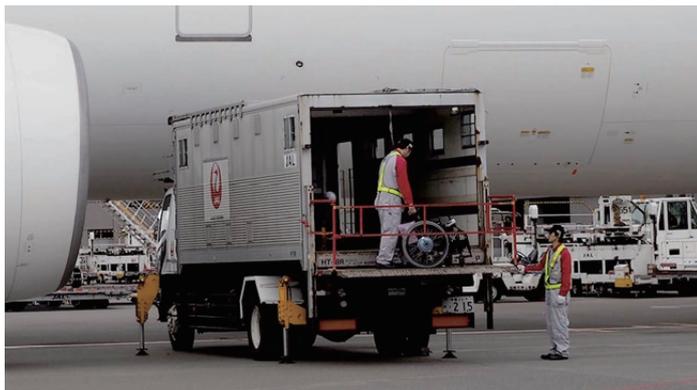


車椅子を貨物として積み込むまでの手順や作業など、空港側としてはどのように対応しているのかをみさせていただきました。これらの作業も、普段私たちが使っている車椅子を実際に使い、よりリアルに見させて頂くことができました。

ブリッジから車椅子を貨物として積み込む手順や方法は、空港の設備や機材(飛行機の機種)、航空会社によって変わってくる。

成田空港+JALの場合は車椅子を下へ降ろす方法として、貨物用のリフトを使っています。例えば、このような設備の無い小さな空港などでは変わってくるであろうし、設備以前に障害や車椅子に対し理解の浅い航空会社でも変わってくるかもしれない。そのような場合は、シップサイド移乗ができないことも考えられる。





くるまいす
車椅子ユーザーとしては、シップサ
イド移乗にたいおうしていただくと非常
にありがたい。そうでない航空会社も
ある中JALさんは対応していただ
けている。このような内部的な作業は
ふだんみ
普段見ることができないため、私たち
ユーザーにはわからないことがお
お
多かった。

し さ つ ご か く ぶ し ょ か た が た ま じ
視察後に各部署の方々を交え、
いけんこうかん じかん いただ
意見交換の時間もとって頂きました。

くうこうがわ なや さつこんくるまいす
空港側の悩みとしては、昨今車椅子
しゆるい
の種類がとても増えていること。特に
でんどうくるまいす こうくうき つ こ ばあい
電動車椅子を航空機へ積み込む場合、
と あつか
バッテリーの取り扱いがとてもシビア

になる。バッテリーの種類や絶縁の仕方などは、メーカーや車種によって違ってくる。
この取り扱いを正確に把握できないと、積み込むことができないわけだ。

ひびしんしゃ はつばい なか こうこうがわ
日々新車も発売される中、空港側としてそれらをすべて把握することはやはり困難
ということだった。メーカーによっては、航空会社向けに取り扱い方法などをサイト
で公開しているところもあり、そういった工夫があると航空会社側としてはとても助
かるとも話されていた。

また、情報の伝達についても質問した。

くるまいす ひこうき りよう ばあい まえ からだ くるまいす しゆるい
車椅子ユーザーが飛行機を利用する場合、前もって身体についてや車椅子の種類な
どを電話で伝えておく。こうすることで当日の手続きがスムーズに進められるのだ
と、私は思っていた。しかし、実際に利用していて感じることは、必ずしもそうでは
ないということ。

おな じょうほう なんと き りゆう こうこうがわ でんわ じょうほう じっさい げんぶつ ちが
同じ情報を何度も聞く理由として空港側は、電話での情報と実際の現物とに違いが
ないかを確認しているとのことだった。確かに私たちユーザーにも勘違いなどが考え
られるだろうから、正確に把握することは重要だと思う。しかし、電話で伝えたこと
が伝わっていないかのように、まったく同じことを伝えることが多いように私は感じ
ている。しかも、それはチェックインから搭乗するまでの間に何回も。

くうこう おお そしき ゆえ ぶしよ れんけい しょうがいしゃ たいおう
空港は大きな組織が故、たくさんの部署が連携し障害者に対応していただいている。
ぶしよかん じょうほうきょうゆう でんたつほうほう よう
その部署間の情報共有や伝達方法はどの様になされているのか。



これに^{たい}対して^{めいかく}明確な^{こた}答えはな
かった。特に決まった方法な
どがあるわけではないみたい。
行先^{いきさきくうこう}空港への、シップサイド
移乗^{いじょうきぼう}希望^{じょうぼう}の情報^{たんとうしゃかん}も担当者間
でメールとのこと。これではミス
も^{かんが}考えられ^{かいぜん}改善^{ひつようせい}の必要性^{つよ}を強
く^{かん}感じた。実際に^{じっさい}伝わって^{つた}いな
い^{かのうせい}可能性もあるのだ。

車椅子^{くるまいす}ユーザー側^{がわ}としても、自分^{じぶん}の乗^のってる車椅子^{くるまいす}を正^{ただ}しく理^り解^{かい}しておくこともス
ムーズに^{てつづ}手続き^{すす}を進^{すす}めることに役^{やく}立^だつ。自分^{じぶん}の障^{しょう}害^{がい}についてや、バッテリ^{しゅるい}の種類^{しゅるい}や
車椅子^{くるまいす}のサイズ・重^{おも}さ、たたみ^{かた}方^{かた}などを上^{じょう}手^ずに^{つた}伝え^{つた}られると、それ^{じか}だけ^{かん}でも時^じ間^{かん}短^{たん}縮^{しゅく}
につな^{じぶん}がるし、自分^{じぶん}自身^{じしん}も楽^{らく}になる。

飛行機^{ひこうき}の利用^{りよう}は正^{しょう}直^{じき}なとこ^わろ煩^わわしいこと^おも^お多い。しかし飛行機^{ひこうき}を利用^{りよう}すること^おで
行^{こう}動^{どう}範^{はん}圍^いは飛^ひ躍^{やく}的^{てき}に広^{ひろ}がり、得^えるもの^おはとて^おも大^いきい。言^いうま^おでも^いなく、飛行機^{ひこうき}でな
ければ行^いけ^おないところ^おもた^おく^おさんある。この大^おきなメ^おリ^おット^おをもう少^{すこ}し手^て軽^{がる}に得^えられ
るよ^{わたし}うに、私^{わたし}たち^{かん}も考^{てい}え^{あん}提^{つな}案^なに繋^{つな}げてい^おければ^お思^{おも}う。

福祉機器・介護用品・住宅改造のお問合わせは
お気軽に当店まで！ 自社工場完備で修理・改造がすぐ！
— 福祉機器のトータルプランナー —

有限会社 **パムック**



江戸川区南篠崎町 2-16-2 第2相栄ビル3F
(レンタル車いす・車いす保険も取扱っております)

TEL03(5666)4801 | FAX03(5666)4802

かいじん ぼりゅう 会員募集

すてっぶ えどがわは、すてっぶ ポリシーとすてっぶ くん もと しょうがいしゃ
じりつせいかつ かなかま さまざま もんだい とく ちいき ね
の自立生活に係わる様々な問題に取り組み、ひいては地域に根ざした
しゃかいこうけんだんたい
社会貢献団体になることを目指しています。

つきましては、とうほうじん かつどうしゆし さんどう
さんじよ とも じりつせいかつ すてっぶ ささ
賛助)になっていただき、共に自立生活センターSTEPえどがわを支え、
そだ くだ なかま ぼしゆう
育てて下さる仲間を募集します。

せいかいじん せいかいじん とうほうじん ていかん さだ そうかい さんか
正会員 (正会員は、当法人の定款に定めた総会に参加できます)

- とうろくりよう えん にゆうかいじ
・登録料 5,000 円 (入会時のみ)
- かいひ えん ねん
・会費 5,000 円/年

かいじん さんじよかいじん
サポーター会員 (賛助会員)

- こじん くち えん ねん くちいじょう
・個人 1口 3,000 円/年 (1口以上)
- だんたい ほうじん くち えん ねん くちいじょう
・団体・法人 1口 10,000 円/年 (1口以上)

かいじん とうほうじん かんこうぶつ あんない どう そうふいた
会員には、当法人の刊行物、イベント案内チラシ等を送付致します。

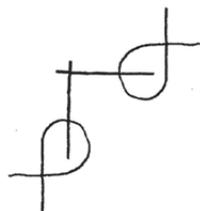
かいひのうにゆうさき
会費納入先

ゆうびんふりかえ じりつせいかつ
<郵便振替> 自立生活センターステップえどがわ No.00110-0-579238

ぎんこうこうざ とくていひえいりかつどうほうじんじりつせいかつ
<銀行口座> 特定非営利活動法人自立生活センターステップえどがわ

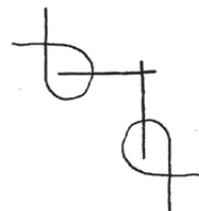
みつびしゆーえふじえーぎんこう みずえしてん ふつう
三菱UFJ銀行 瑞江支店 普通 0548550





編集後記

へんしゅう こう き



「まる子」

わが家に柴犬(2か月)「まる子」がやってきた。昔飼っていた柴犬「モモ」は、「犬はおバカな方がかわいいんだ!」という父親の謎の教育方針により、おすわりも待てもせず、自分のう○ちを食べまくっていました。今朝、起床して「まる子」の様子をみにいくと、ちゃんとトイレでう○ちをしている。「わーまる子えらいねー」とほめると、自慢げにソレを加えて私のところに持ってきました。モモ、お前に似た子がまた来てくれたよ～。 (完)

へんしゅう
編集 :

とうきょうとしていきよたくしえんじぎょうしゃ
東京都指定居宅支援事業者
とくていひえいりかつどうほうじん えぬぴーおーほうじん
特定非営利活動法人(NPO法人)
自立生活センターSTEPえどがわ
じりつせいかつ すてっぶ

〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7
でんわ 03-3676-7422 ふうあつくす FAX 03-3676-7425
うえぶ WEB <http://www.step-edogawa.com/>
めーる E-mail main@step-edogawa.com

